

ISAPP 会長からのメッセージ

世界保健機構によれば、14 歳から 25 歳の若者における世界の疾病負担(Global burden of disability: GBD)の大半を、今や精神神経疾患が占めています。全ての年齢層で死亡率が下がっているにもかかわらず、思春期世代の低下率は、高齢者層や若年層には至りません。薬物やアルコールの乱用、喫煙、自動車事故、10 代の妊娠に関連した問題は、世界中での重大な死亡原因と言うに留まらず、健康に長期に及ぶ害をもたらします。

メンタルヘルスのサーヴィスを必要とする多くの思春期の若者に、それが行き渡ることはありません。発展途上国では、特に深刻な問題です。思春期治療に押し掛かる様々な制限という難題、人手や設備、資金の不足、ケアへのアクセスの問題は、明らかに、まさに世界中で見られることです。

ISAPP (International Society for Adolescent Psychiatry and Psychology)は、メンタルヘルスの専門家—精神科医、心理職、ソーシャルワーカーなど)からなる非営利組織であり、世界中の思春期の心の健康の向上に取り組んできました。メンタルヘルス領域での間隙を埋めるため、1984 年に国際学会として設立されています。思春期の心の健康の改善に必要とされることにもっぱら専心してきた、多領域の専門家からなる唯一の組織です。この組織の主たる目的は、思春期の心理学や精神医学に関心のある専門家間での知的交流の場を提供することです。世界中の様々な場所で国内もしくは国際会議が企画され、大規模な国際学会が4年に1度開催されています。これまでの開催地は、パリ、ジュネーブ、シカゴ、アテネ、エクサンプロバンス、ローマ、モントリオール、ベルリン、アンカラ、ニューヨークです。

これまでの会議同様、第2回 ISAPP 地区大会/第31回 JSAP 年次大会が素晴らしい大会になることは間違いありません。世界中から、思春期に携わる精神科医、心理職、メンタルヘルスの様々な専門家が世界中から一同に集まります。2018年の大阪で、日本や世界中からの高名な先生方、一流の仲間に出会えることを楽しみにしています。

Lois T. Flaherty, MD

USA